

平成29年度予算に向けた個別公共事業評価  
に関する資料（都市局関係事業）

平成29年2月

都 市 局

# 目 次

○ 直轄事業等に関する個別公共事業評価結果一覧	
・平成29年度予算に向けた再評価について（直轄事業等）	…… 2
○平成29年度予算に向けた個別公共事業評価書	…… 3

# 直轄事業等に関する個別公共事業評価結果一覧

## ■平成29年度予算に向けた再評価について(直轄事業等)

・事業評価対象の直轄事業等(直轄事業および独立行政法人等施行事業(独立行政法人等が行う補助事業を除く。))を対象としたものである。

・事業評価の実施にあたっては、貨幣換算した便益だけでなく、貨幣換算することが困難な定量的・定性的な効果や事業の実施環境等を含めて総合的に評価を行っているが、本一覧においては、B/Cの算出を行った事業について、その値を記載している。

### 【公共事業関係費】

#### 【都市公園等事業】

(直轄事業等)

都道府県 (実施箇所)	事業名	全体事業 費 (億円)	B/C	対応方針	備考
兵庫県	国営明石海峡公園	958	1.7	継続	
奈良県	国営飛鳥・平城宮跡歴史公園	929	1.6	継続	(注1)

(注1) 前回評価時において実施した費用対効果分析の要因に変化が見られないことなどから、前回評価の費用対効果分析の結果を用いている。

# 平成29年度予算に向けた個別公共事業評価書

<評価の手法等>

事業名 ( )内は 方法を示す。*	評価項目		費用便益分析以外の 主な評価項目	評価を行う過程 において使用 した資料等	担当部局
	費用便益分析				
	費用	便益			
都市公園等事業 (TCM、コンジョイント分 析、CVM)	・建設費 ・維持管理費	・健康、レクリエーション空間として の利用価値 ・環境の価値 ・防災の価値 ・その他の効果	・計画への位置付け ・安全性の向上 ・地域の活性化 ・福祉社会への対応 ・都市環境の改善	・国勢調査結 果	都市局

※効果把握の方法

TCM(トラベルコスト法)

対象とする非市場財(環境資源等)を訪れて、そのレクリエーション、アメニティを利用する人々が支出する交通費などの費用と、利用のために費やす時間の機会費用を合わせた旅行費用を求めることによって、その施設によってもたらされる便益を評価する方法。

コンジョイント分析

仮想状況に対する選好のアンケート結果をもとに、評価対象資本の構成要素を変化させた場合の望ましさの違いを貨幣価値に換算することによって評価する方法。

CVM(仮想的市場評価法)

アンケート等を用いて評価対象社会資本に対する支払意思額を住民等に尋ねることで、対象とする財などの価値を金額で評価する方法。

## 平成29年度予算に向けた再評価について (平成29年2月時点)

### 【公共事業関係費】

事業区分		再評価実施箇所数					再評価結果			
		一定期間未着工	長期間継続中	準備計画段階	再々評価	その他	計	継続 うち見直し継続	中止	評価 手続中
都市公園等事業	直轄事業等				2		2			
合 計		0	0	0	2	0	2	0	0	0

(注1) 直轄事業等には、独立行政法人等施行事業(補助事業を除く)を含む

(注2) 再評価対象基準

一定期間未着工: 事業採択後一定期間(直轄事業等は3年間、補助事業等は5年間)が経過した時点で未着工の事業

長期間継続中: 事業採択後長期間(5年間)が経過した時点で継続中の事業

準備計画段階: 準備・計画段階で一定期間(直轄事業等3年間、補助事業等5年間)が経過している事業

再々評価: 再評価実施後一定期間(直轄事業等3年間、補助事業等5年間)が経過している事業

その他: 社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業

【都市公園等事業】  
 (直轄事業等)

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析				貨幣換算が困難な効果等 による評価	再評価の視点 (投資効果等の事業の必要性、事業の 進捗の見込み、コスト縮減等)	対応方針	担当課 (担当課長 名)	
			貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C(億円)						B/C
			便益の内訳及び主な根拠		費用の内訳						
国営明石海峡公園 近畿地方整備局	再々評価	958	3,232	1,916	1.7	・淡路地区では、四季を通じた花修景や幅広い年齢層に対応したプログラムの提供、広大な敷地を活かした大型イベント開催等により、広域的に求園者を誘致しており、淡路島観光の中核を担っている。 ・また、災害発生時には広域防災拠点として広いオープンスペースを確保するとともに、陸上自衛隊等の関係機関と連携し、災害時の初動応急対応の迅速化に寄与している。 ・神戸地区では、市民協働により季節毎の体験プログラムを継続的に提供する等、自然と共生する里地里山文化の次世代への継承に寄与している。	【投資効果等の事業の必要性】 ・一の都府県を越える広域的な見地から設置された公園であり、自然環境の保全・再生、広域レクリエーション需要への対応等の基本方針に基づき整備を行っており、政策目標に照らして妥当性を有している。 ・平成26年4月の明石海峡大橋通行料金改定以後、入園者数は増加傾向にあり、平成27年度は過去最高の約84万人を記録し、地域活性化に寄与している。 【事業の進捗の見込み】 ・淡路地区においては、海岸ゾーンの園路広場整備等を実施。 ・神戸地区においては、第Ⅰ期開園した棚田ゾーンに引き続き、森のゾーンの園路広場整備等を実施。 【コスト縮減等】 ・事業の実施にあたり、新技術・新工法の採用などにより、コスト縮減に努める。	継続	都市局 公園緑地・景観課 (課長 町田 誠)		
国営飛鳥・平城宮跡 歴史公園 近畿地方整備局	再々評価	929	3,794 (※1)	2,378 (※1)	1.6 (※1)	・飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等を図るとともに、我が国固有の優れた文化的資産である平城宮跡の保存及び活用を図っている。 ・飛鳥区域では、我が国の「国家形成の始まりの地」である飛鳥地方において、歴史的風土及び文化財の保存及び活用を寄与している。 ・平城宮跡区域では、律令国家体制の完成をみた奈良時代の都「平城京」の中心であり、特別史跡、かつ、世界遺産の構成資産の一つでもある「平城宮跡」の保存及び活用を寄与している。	【投資効果等の事業の必要性】 ・飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等及び我が国固有の優れた文化的資産である平城宮跡の保存及び活用を図ることを目的として開園決定を経て設置された国営公園であり、政策目標に照らして妥当性を有している。なお、前回評価時と比較し、社会経済情勢等に変化は生じていない。 【事業の進捗の見込み】 ・飛鳥区域においては、公園に隣接する県道の改良に併せて、公園施設の再整備を実施。 ・平城宮跡区域においては、早期開園を目指して拠点ゾーンの整備を進めるとともに、第一次大極殿建築物の復原工事に着手する。 【コスト縮減等】 ・事業の実施にあたり、新技術・新工法の採用などにより、コスト縮減に努める。	継続	都市局 公園緑地・景観課 (課長 町田 誠)		

※1 前回評価時において実施した費用便益分析の要因に変化が見られないことなどから、前回評価の費用便益分析の結果を用いている。